

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線：7234)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第8回とりアート (鳥取県総合芸術 文化祭) 開催事業	38,014	50,306	△ 12,292				38,014	
トータルコスト	67,059千円(前年度94,217千円) [正職員：3.6人]							
主な業務内容	総合芸術文化祭の実施に向けた各委員会の開催及び連絡調整、広報、予算執行管理							
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県内の文化活動のすそ野を拡大するとともに、地域に根ざした創造性の高い文化芸術活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図ることを目的に、県民自らの手による文化芸術の祭典として開催される「第8回とりアート(鳥取県総合芸術文化祭)」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して助成する。								
2 主な事業内容								
(1) 期 間 平成22年9月県展開幕日～11月末日(予定)								
(2) 場 所 とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子市文化ホールなど県下全域								
(3) 実施主体 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会								
(4) 主な事業内容								
区 分 内 容								
【メイン事業】 「新・八賢士の世界」(仮称) [予算額 10,533千円]		◇地域に密着した題材や人材を活用して質の高い作品を提供するため、2年間かけて作品を制作する。 ◇22年度は、準備としての舞台制作を(財)県文化振興財団に委託。(23年度本番：倉吉未来中心大ホール)						
【アートマネージャー育成事業】 [予算額 5,365千円]		◇鑑賞者に魅力的な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、県内の文化芸術活動を支える人材「アートマネージャー」の発掘と育成をめざす。						
キラリ☆アートプロジェクト		全県より2事業の企画を公募し、公開審査により選定。採択された企画を実行委員会が提案者に委託し実施。						
アートマネジメント研修会		講座3回・研修大会1回						
各地区へのアートマネージャーの配置		実践できる活躍の場を提供するとともに、各地区事業の充実と円滑な実施のため配置						
【各地区企画運営委員会自主企画事業】 [予算額 7,010千円]		◇各地区会場において、県民が気軽に文化芸術を体験、鑑賞できる機会を提供し、文化芸術のすそ野の拡大を図る。 また、会場外にも出向き文化芸術普及活動も行う。 ア 公募により県民が実施する参加体験型事業 イ 各地区企画運営委員会が自ら行う事業						
【広報費、運営事務費】 (実行委員会、評価委員会及び事務局運営費) [予算額 9,198千円]		◇各地区企画運営委員会及び全体広報 ◇市町村の地区企画運営委員会への参加と広報紙を活用したPRの連携 ◇実行委員会、評価委員会及び事務局の運営に要する経費						
【事務局移管に係る人件費】 [予算額 5,908千円]		◇24年度までに事務局を段階的に県から(財)鳥取県文化振興財団に移管する。 ・22年度：中部・西部地区企画運営委員会事務局 ・23年度：東部地区企画運営委員会事務局 ・24年度：県総合芸術文化祭実行委員会事務局						
※アートマネージャーとは：文化芸術に関する事業において、円滑な事業実施をプロデュースし、地域を巻き込み、鑑賞者と活動者双方へ働きかけながら、人材発掘やスタッフ・出演者等のコーディネーターなど、事業に係る幅広い業務を担う人材のこと								
3 これまでの取組状況、改善点 総合芸術文化祭の更なる浸透のため、愛称を「とりアート」と決定しロゴマークも作成するなど広報活動に努めている。事業においても、メイン事業はとりアートの核として定着しつつあり、各地区企画運営委員会主催事業も、アートマネージャーを設置し、地域と密着した各地区独自の活動も充実しつつある。除々にではあるが若手アートマネージャーも増えつつある。 ※とりアート21年度観客数(延べ人数)：39,718人(20年度：31,566人) 22年度以降メイン事業は、県内全域の人材の有効活用により、十分な準備期間を設け、質の高い作品を2ヵ年かけて制作することとした。								